

2014 年電波伝搬実験

JJ1SXA/池

240 グループの電波伝搬実験、水曜日、木曜日と崩れていた天気も、金曜日には回復し、昨年に続き絶好の移動日和、伝搬実験前日の土曜日朝自宅を出発、五日市街道から青梅街道経由で、大泉 IC から外環道、東北道へと進み、宇都宮 JCT で日光宇都宮道路と、ほとんど高速道路を利用。

順調なドライブで、清滝 IC を下りて、中禅寺湖方面 120 号線へ、今年は、「半月山」での運用ですが、昨年の「前日光高原」移動の場所へは、清滝 IC を下りて、122 号線方面へ左折し、粕尾峠経由で、前日光ハイランドロッジに向ったのを思い出す。

第 2 いろは坂を登り切ると、もう中禅寺湖、宿泊はこの湖畔にある旅館だが、そのまま、半月山へロケハンに向かう。

120 号線「二荒橋前信号」より手前で左折しショートカットで県道 250 線に出る、中禅寺湖を右に見ながら急坂のヘアピンカーブの連続を走る、どんどん中禅寺湖が下方に見え隠れする、山を登っているんだと実感。

駐車場現着で、とりあえずコンパスと地図で方向を確認し、駐車場の南東端に駐車、山を背負って北側の中禅寺湖は見えないが、見渡した感じでは、1,2 エリアは全く問題なさそう、木曾御岳山方向も大丈夫そうだ、コントロールするセンター局の移動地である赤城山は、見通しの感じすらする、距離も、30 数キロの筈、例年センター局の信号受信に苦労してきたが、今年も昨年同様全く問題無しのような、何しろセンター局が聞こえないと、何をやっているのかがわからない、一先ず安心したので、持参したおにぎりの昼食とする、山の上で食べる食事は格別の味がする。

無線のための移動ながら、ピクニック気分、大いにリラックスできる、そして夜は、温泉につかり、一杯やれるのが楽しみ、伝搬実験にかこつけての夫婦の慰安旅行だ。

さて、本来の伝播実験、朝食を済ませると早々に、宿をチェックアウト、走り始めると、各局の信号も入っているが、そのままワッチしながら運転に専念、昨日下見をしているので、難無く約 25 分弱で現着、9 時まで少し時間がある、キー局に挨拶し、各局の入感状況をチェック、大部分の局が聞こえて安心する。

0 移動の CTR 局の信号もばっちり、2 エリアが一寸厳しかったが、EBS 局とは最終的に QSO でき、双方で喜び合いました、イブシヤマをイブキヤマと聞き違えたが、コールサイン・レポートは確実に交換できたので良いでしょう、WYU 局の信号は、かすかすながら話の一部は了解できたので、後半再チャレンジするも QSO に至らず残念、唯一、この伊豆市との QSO ができず、全ポイント QSO を逃した。

やはり、無線はロケーションが大事ということを再認識しました、実験途中、e スポが開け、QSY の必要ありかと心配したが、無事実験終了、センター局は勿論のことながら、移動の各局お疲れさまでした、技術講習会での話が楽しみです。